

医療法人清風会

- *茨木病院
- *地域活動支援センター菜の花
- *菜の花障害者相談支援センター
- *就労支援センターonwArk（オンワーク）
- *訪問看護ステーション そよかぜ



茨木病院東館屋上より撮影

— Contents 目次 —

- 1.年頭所感
- 2.デイケア祭り
- 3.ハンセン病シンポジウム
- 4.家族の集い
- 5.病棟クリスマス会
- 6.菜の花卓球大会
- 7.認知症講演会



2020年 年頭にあたり



令和になり初めての新年を迎え、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

2020年1月4日 茨木病院にて理事長の年頭所感と永年勤続者表彰を行いました。

年頭所感では、昨年の振り返りと今年の事業計画についての話がありました。昨年を振り返ると、3月に病院機能評価更新の受審、11月に医療観察法指定通院指導監査、ピアレビューで5精神科病院の来院、保健所立ち入り検査及び精神科病院実地指導、公衆衛生関係行政事務指導監査における実地検証があり、例年以上に多くの第三者機関の来院により、いろいろな評価や指摘を受けました。

今年の事業計画は、①病院の健全経営②在宅支援部門の拡充③地域活動支援センター「菜の花」を中心とした福祉事業の展開・充実④医療安全管理の強化・充実⑤地域啓発及び地域交流事業⑥人材の育成と教育の6点があげられました。活発に地域交流をすることで精神疾患や認知症に関する啓発をし、また障害者が安定した社会生活を営むためのサービス提供、連携を行います。就労を希望される方には多機能（就労移行事業、就労継続B型、就労定着事業）で障害者の自立と社会参加を支援します。

今年も患者さんのところに寄り添い、病院での治療のみならず地域と連携して在宅生活を支援し、地域と社会に貢献することを目指し、職員一同より一層努力していきたいと思っております。

今後とも引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。





第4回デイケア祭り開催



2019年11月22日（金）に第4回目となるデイケア祭りを開催しました。来場者数は昨年を大きく上回り、318名となりました。（昨年約210名）

今回は、外来・入院患者さんやそのご家族の方などにデイケアのことを知って頂きたいという思いの元に、例年行っている作品展やステージ発表などの他にCBT（認知行動療法）やWRAP（元気回復行動プラン）などプログラム体験ができるブースを新たに設置し、デイケアの魅力を発信できる取り組みを多く実施しました。参加された方からは、「トーンチャイムの演奏が素敵でした」「アロマが持ち帰れて良かった」「色々なブースがあって楽しかった。プログラム体験が楽しかった」「皆さんがデイケアで楽しく元気に過ごされていることが分かって良かった！」など嬉しい感想を頂きました。今後もデイケアの魅力が伝わるような企画を考えていきたいと思えます。



ハンセン病シンポジウム

2019年12月7日（土）に茨木市立総持寺いのち・愛・ゆめセンターにてハンセン病シンポジウムが開催されました。茨木市では人権週間に際し、人権尊重思想の普及、高揚を目的とした啓発活動の一環として企画されたものです。講師にハンセン病療養所邑久光明園園長の青木美憲氏が来られ、ハンセン病とはどのようなものかということや、日本における歴史、そしてその歴史から何を学ぶかということを知りやすく、講演されていました。その後は、当院理事長高橋幸彦を含む他3名、「青い鳥楽団」とゆかりのある方たちによるトークセッションがありました。「青い鳥楽団（団長：近藤宏一さん）」は、いずれも邑久光明園と同じ岡山県にあるハンセン病療養所の長島愛生園の元入所者で結成された楽団です。差別や偏見が厳しい中、高橋幸彦理事長や関係者の尽力で、療養所以外で初めて「青い鳥楽団」が演奏会を開催したのが、1967年の茨木病院での“訪問演奏会”でした。その当時の思い出話や、長島愛生園のことについて実体験を踏まえた非常に興味深いお話を聞くことができました。



最後に現在の「青い鳥楽団」のハーモニカ演奏を聴くことができ、市民の方も聴き入っていました。

当院としても、差別や偏見の解消に向けた取り組みを考えていき、地域に貢献できる病院であり続けたいと改めて思いました。

家族の集い



今年度第3回目となる家族の集いが、2019年10月5日（土）に開催されました。今回は東京の杏林大学の前田直先生を講師にお迎えして『家族が安心して生活するための家族まるごと支援～親・きょうだい・配偶者・子どもなど様々な立場のリカバリー～』というテーマで講義をしていただきました。前田直先生は、杏林大学保健学部作業療法学科・助教であり、また精神に障害のある方のご家族の立場として様々な活動に携わっておられます。講義ではご自身の体験談も含めてご家族が当事者の支援をする中で直面する困難やご家族が安心して生活するために必要なこと等について話をさせていただきました。講義の後には親・きょうだい・配偶者・子どもの立場別交流会を実施して活発な意見交換が行われました。一口に「家族」といっても立場によって抱える悩みは千差万別であり、それぞれの立場のご家族の経験や思いを聞くことができたことは非常に有意義な時間でありました。

また2019年11月16日（土）には家族の集いとして初の試みとなる「つどいかふえ」を開催しました。少人数のご家族同士で交流できる場として開催し、今回は「配偶者」の立場の方に集まって頂きました。当事者の家族と一口に言っても立場によって抱える悩みは千差万別であることは前述した通りですが、同じ「配偶者」の中でも夫・妻によって悩みの内容に大きな違いがあることが分かりました。スタッフ一同、今回の立場別交流会やつどいかふえで学んだことを今後の業務に生かしていきたいと思っております。家族の集いは今後もご家族同士が気軽に交流できる場を提供していきたいと考えています。お気軽にご参加ください。



◆次回のお知らせ

日時：2020年2月8日（土）13:30～

場所：茨木病院2階 喫茶「ペコロス」

内容：同じ立場の人が集まり、その立場ゆえの気持ちなどを話してもらえ
る場所として「つどいかふえ」を開催致します。

対象：当院入院・通院中の患者様の「きょうだい（兄弟姉妹）」の立場の方が対象。

Merry Christmas

今年も冬の恒例イベント、病棟クリスマス会が開催されました。歌や踊り、ゲーム大会、中にはケーキ作りを行った病棟もあり、バラエティーに富んだ内容となりました。

参加者からは「もうそんな時期？一年があつという間」「美味しいものが食べられてよかった」と感想を頂き、楽しいひと時を過ごしました。



菜の花卓球大会

12月7日（土）、NPO法人のM-CAN（三島コミュニティ・アクション・ネットワーク）と共催で、菜の花にて卓球大会を行いました。当日は8チームが参加し、楽しみながら交流を行いました。



また、決勝戦では息の詰まる攻防戦が繰り広げられ、大会を盛り上げました。今年は大阪人間科学大学の学生が、ボランティアとして試合にも参加をしてくれました。試合後は、M-CANの方が作って下さった豚汁とおにぎりでお腹を満たしました。ご協力ありがとうございました！





～認知症講演会～ 「若年性認知症の家族介護から家族会活動へ」

2019年11月9日（土）に認知症講演会が開催されました。講師にはSPSラボ若年性認知症サポートセンター理事の大塚幸子先生を招き、若年性認知症を発症した夫の家庭内介護と、その経験を生かし現在活動している患者家族の支援について話して頂きました。

大塚先生が介護を行っていた時には、介護保険制度が導入されておらず、変化する症状に応じて家庭内の物を創意工夫していたということです。現在は介護用品の種類も増えていますが、日用品として使用するには100円均一の商品で代用できるものが非常に多く、経済的な介護方法について具体的なアドバイスがありました。そして、家庭内介護を続けながらも、当時、若年性認知症について相談できる家族会が存在しないことを懸念し、日本で初めて「若年性認知症の家族会」を立ち上げたということです。

家族会の中心として活動した経験を生かして、夫が他界した現在も多くの患者や家族を支援しているということです。介護をした家族としての視点と家族を支える側の視点から、多角的に介護を考える機会になった講演会となりました。

講演後に行われた意見交換で、「私も家族会を立ち上げたい、家族だからできることをしてあげたい」「介護に正解はない。これからも情報交換をしたい」「介護する気持ちは今も昔も変わらない。何ができるかを考え、それをしてあげたい」という意見がありました。

立場によって変わる介護の難しさを感じながらも、人として介護にどう向き合うか考えることのできた時間になりました。



茨木病院 外来案内

月	火	水	木	金	土
高橋(幸)	高橋(大)	岩井	つじ 街	高石	村木
荻野					岩井 第24のみ
かわべ 河邊					

診療時間：初診・再診 予約制

休診日：日曜、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

〒567-0801

大阪府茨木市総持寺1丁目4番1号

TEL 072-622-2721(代) / FAX 072-621-7092

□発行：医療法人清風会 広報委員会

□発行年月日：2020年1月22日

□HP：<http://www.seifukai.org>



編集後記

萬古清風（ばんこせいふう）



新年、明けましておめでとうございます。昨年、元号が変わり、節目の年でありました。そして今年、東京オリンピックが開催される記念すべき年になる期待とともに年明けを迎えました。

清風会としては、この「TeToTe」を発刊してから9年が経とうとしています。機関誌は地域との繋がりを作るひとつのツールだと考え、これまで継続してこられたことを嬉しく思います。本年も地域連携を深めていき、医療・福祉に貢献できるよう努めていきたいと思えます。

本年も、皆様に清風会の様々なお知らせをお届けしていきたく思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員 栗田 舞

受診や面会などで駐車場（菜の花横のコインパーキング：東洋カーマックス）をご利用の際は、駐車券を受付でご提示ください。サービス券をお渡しします。なお、タイムズ駐車料金の割引はできませんのでご注意ください。